

# 13. 宇治山田駅前活性化事業

## イベントで宇治山田駅前を元気に!!

宇治山田駅前活性化事業は学年、学部を飛び越え、幅広く活動しています。この活動はシンフォニアテクノロジー響ホール伊勢様と協力しながら12月中頃にウィンターフェスの開催をしています。イベントを運営する経験や遊び、クイズの企画、様々な人とのコミュニケーションをとりながら地域の方の笑顔や幸せを創出できます。

メンバー数：14名  
活動場所：伊勢市  
実施主体：シンフォニアテクノロジー  
響ホール伊勢（伊勢市観光文化会館）  
担当教員：筒井 琢磨（現代日本社会学部）  
活動年度：R02, R03, R04, R05, R06



### 1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

今年のイベントでは、クイズやクリスマスを題材としたお絵描き、写真の鑑賞など、来場者がさまざまなアクティビティを楽しむことができました。また、新たな試みとして、クリスマスを題材とした射的やすごろくを取り入れた。初めての試みが多い中でも、積極的に参加してくれる子どもたちが多く、イベント全体が明るく和やかな雰囲気となり、非常にやりがいを感じた。

特にお絵描きコーナーでは、多くの子どもたちが参加し、異なる年齢層の交流の場にもなった。そのため、幅広い世代の方々に楽しんでもらえたと感じている。物販コーナーでは、和紅茶やお菓子などを幅広く販売し、多くの方に購入していただいた。クイズコーナーでは、昨年よりも問題数を大幅に増やし、クリスマスに関する雑学や簡単な時事問題を取り入れることで、より多くの子どもたちに楽しんでもらえるよう工夫した。また、クイズは2～3回に分けて実施し、多くの参加者に楽しんでもらうことができた。

このように、今年のイベントは老若男女問わず楽しめる場となったと感じている。しかし、一部のブースに人が集中し、流れが偏ってしまうという課題も見られた。これは各ブースの人数配分の問題でもあるため、次回はよりバランスよく配置できるよう工夫する必要がある。また、子どもがいない時間帯は比較的閑散としていたため、大人の方にも楽しんでもらえるような取り組みが必要だと感じた。

全体を通して、多くの成果を挙げることができたが、改善すべき点も明確になった。今後は、参加したメンバー間でフィードバックを交換し、次のイベントではさらに多くの人々が楽しめるような工夫をしていきたい。より充実したイベントを実現するために、準備段階から細かく計画を立て、多様なニーズに応えられるよう努めていく必要があると感じた。

### 月別活動

10月 初回打ち合わせミーティング

11月 かぶんウィンターフェス開催



### 活動を通して学んだこと

この活動を通じて、運営に必要な現場管理の力が養われると感じた。また、物品販売において企業と関わる機会があるため、計画力や実行力の向上にもつながる。これらの経験を積むことで、より円滑な運営や効果的な販売戦略を立てる力が身に付き、実践的なスキルを磨くことができると考えられる。

### 実施主体からのコメント

シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢  
ご担当者様

皇學館大CLLメンバー18名によるクイズ・射的・すごろく・物販等の各コーナーでホワイエ内は賑わいをみせた。来場者をはじめ、ステージ出演の子供たちも楽しんでいる様子が伺えた。発達支援室クオールによる製作のフォトスポットも大作で子ども、学生、大人みんながイベントの記念に写真を撮っていた。しかし、今年度も時間帯による来場数の偏りがあり引き続き広報の手段には反省点が残る結果である。



### 担当教員より

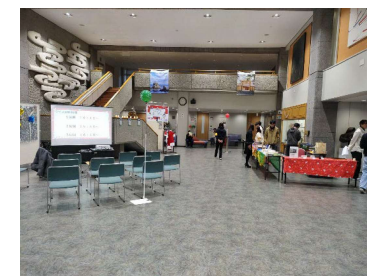
現代日本社会学部 筒井 琢磨

新しいコーナーが2つもでき、充実した内容になったと思います。メンバーの皆さんは積極的に動かれて、来場された方が、とくに子どもさんたちが楽しい時間を過ごすことができ、おもてなしとして成功したと思います。

準備段階で学年間やコーナー間での交流があまりできなかったことや、当日のコーナー間の動線の工夫等、見直すべきところもあると思いますが、反省を次の機会に活かせるように記録をしっかりと残しておいてください。

📢 たくさん人におすすめ!

- ・地域に出て活動してみたい人
- ・子供と触れ合うことが好きな人
- ・イベントの企画・運営に興味がある人



成果物 / 制作物